

法務大臣インタビュー記事編集後記

後藤：「インタビューお疲れ様でした。ふう、緊張しましたね（笑）。とはいえ大臣とお話しできる機会なんてなかなかないので、良き思い出になりました。」

副島：「そうですね。普段お会いできる機会のない大臣から直接若手職員へのエールをいただけたことは、素直に嬉しく、今後の励みにもなりました！」

肥田：「インタビュー中、大臣の豊かな教養を感じ、自分の薄っぺらさを思い知らされ言葉も出ませんでした・・・緊張で言葉が出ないというのもありました・・・（汗）」

後藤：「いえいえ、肥田さんはかなりフォローしていただきましたよ！せっかく大臣に話を広げていただいたのに、もっと気の利いたことを話せたら一と反省。もう一度やらせてもらえないかな・・・（笑）」

副島：「歴史に対する御知見がとても深かったですよね。私は歴史が好きなので、何時間でもお話を聴いていられそうでした。教養や知識に自信はないですが、仕事関係に限らず広い視野を持てるよう日々学んでいきたいです。」

肥田：「人々の生活の基盤を支えている『法』を扱う機関であるという意識を常に持ち、日々の業務に励みたいと思いました。」

全員：「「大臣からの熱いエールをいただいたので、本務も「ほうむSHOW」編集局の活動も今まで以上に頑張っていきたいと思います！」」